

「命のビザ」もう一人の外交官 タデウシュ・ロメル展

開催期間 2021年
2月18日(木)～5月11日(火)

「命のビザ」を持って日本へ
やって来た人々への支援を
行った駐日ポーランド共和国
大使タデウシュ・ロメル氏に
関する展覧会です。

※詳しくは裏面をご覧
ください



敦賀港だからこそ伝えられる「命」と「平和」

敦賀港は、1920年代にポーランド孤児、
1940年代に「命のビザ」を携えたユダヤ難民が上陸した日本で唯一の港。
当時の建物を復元した資料館「人道の港 敦賀ムゼウム」では、
孤児と難民が上陸した歴史、彼らに手を差し伸べた人々のこと、
そして敦賀のまちの人たちが迎え入れた様子を後世に伝えます。



Port of Humanity Tsuruga Museum

人道の港 敦賀ムゼウム

シアターで人道の港の歴史を紹介



新規デジタル資料、アニメーションを導入



撮影 フォワードストローク

ご案内

当館では、ポーランド孤児やユダヤ難民が上陸した歴史を学ぶ
ため、関係者から寄贈いただいた孤児の日記や難民が残した時
計など貴重な資料を展示しています。

開館時間 9:00～17:00(入館は16:30まで)
休館日 水曜日(祝日の場合その翌日)、年末年始
入場料 一般500円[400円]、小学生以下300円[240円]、
4歳未満、障がい者およびその介護者は無料 ※[]内は20名以上の団体割引料金
所在地 〒914-0072 福井県敦賀市金ヶ崎町23-1
お問合せ TEL 0770-37-1035 Mail jindou@ton21.ne.jp
FAX 0770-37-1036 HP https://tsuruga-museum.jp



※ご来館の際には、新型コロナウイルス感染症対策にご協力をお願いいたします。



アクセス

- バス JR敦賀駅3番前のりばぐるっと敦賀周遊バス
(観光ルート)「金ヶ崎緑地」下車
JR敦賀駅前4番のりばコミュニティバス
松原線「金ヶ崎緑地」下車
- タクシー JR敦賀駅から約10分
- 自家用車 北陸自動車道
敦賀インターチェンジから約10分
(駐車場:普通車128台、大型バス5台)

敦賀港にまつわる2つのエピソード

ポーランド孤児763人が敦賀港に上陸

ポーランド孤児とは、ロシア革命後の内戦状態であったシベリアで家族を失い、過酷な状況にあったポーランドの子どもたちのことです。孤児を救うために、日本赤十字社は1920～22年にかけて孤児の受け入れを行い、合計763人のポーランド孤児が敦賀港に上陸しました。当時の敦賀の人々は、菓子・玩具・絵葉書等の差し入れや宿泊・休憩所を提供するなど、温かい手を差し伸べました。



敦賀の松原でのポーランド孤児

「命のビザ」を携えたユダヤ難民が上陸

1940～41年、ユダヤ難民はナチス・ドイツの迫害等から逃れるため、リトアニアのカウナス領事代理・杉原千畝氏が発給した「命のビザ」を携え、リトアニアからウラジオストクを経て、敦賀港に上陸しました。苦難の旅路を経て敦賀に降り立った彼らは、敦賀の街が「天国（ヘブン）に見えた」と後に語っています。上陸した彼らに当時の市民は、リンゴなどの果物を無償で配ったり、銭湯を無料で開放したりしました。



敦賀港への上陸を待つユダヤ難民たち
[出典：朝日新聞記事1941（昭和16）年6月6日]

企画展

「命のビザ」～もう一人の外交官 タデウシュ・ロメル展～ タデウシュ・ロメル駐日ポーランド共和国大使と極東のユダヤ人戦争難民

開催期間 2021年2月18日木～5月11日火

ユダヤ難民を救ったもう一人の外交官

タデウシュ・ロメル氏は、1937年から1941年に初代駐日ポーランド共和国大使を務めた外交官です。ロメル氏は、杉原千畝が発給した「命のビザ」で、日本に到達したポーランド系ユダヤ難民を支援するため、奔走しました。

ロメル氏の献身により最終目的地に到達したユダヤ難民は、約千人にのぼると言われています。杉原千畝の「命のビザ」にはじまるユダヤ難民の救済は、このロメル氏の奔走なくしては成し遂げられなかったのです。

今回の企画展は、この知られざるロメル氏に焦点を当て、その功績をパネルや映像、当時の資料とともに紹介します。

共催：駐日ポーランド共和国大使館・人道の港敦賀ムゼウム 特別協力：ポーランド広報文化センター



初代駐日ポーランド共和国大使タデウシュ・ロメル
(駐日ポーランド大使館所蔵)

同時開催
**クイズ
ラリー**

企画展に合わせてクイズラリーを開催します。
ポーランド孤児、ユダヤ難民に関するクイズに答えて、ムゼウムオリジナルグッズをもらおう!

ムゼウム オリジナルグッズ



クリアファイル



メモ帳



Embassy
of the Republic of Poland
in Tokyo



ポーランド広報文化センター
INSTYTUT POLSKI TOKIO